

北海道ファミリーハウス通信

2020年12月15日発行/No.25

発行：NPO法人北海道ファミリーハウス
責任者：理事・事務局長 塩谷 ゑり子
060-0807札幌市北区北7条西6丁目
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

第21回 JHHH ネットワーク会議

(ジャパン・ホスピタル・ホスピタリティー・ハウス)

新型コロナウイルス感染症発生でオンライン開催

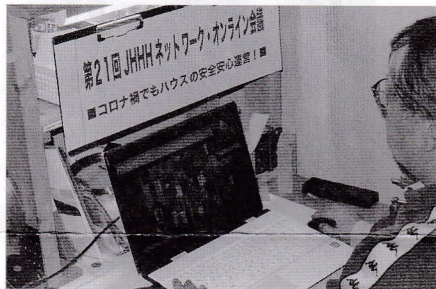
十二月六日(日)

皆様には日頃からファミリーハウス活動に対しご理解、ご協力を賜りまして心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により皆様の生活スタイルにも様々な影響が出ているものと思えます。引き続き「新北海道スタイル」を意識しながら収束に向けて皆様とともに努力していきます。

■コロナ禍の会議を模索

JHHH会議の開催目的は「病院近くのわが家」を運営する全国各地の団体が集まり、日々の活動で工夫していることを共有して互いの良いところを学び合いハウスのより一層の質的向上を目指すものです。



オンライン会議の様子

主催：特定非営利活動法人 ファミリーハウス (東京)
後援：公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズジャパン

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の発生で一堂に会して開催することが難しいことから、様々な方法を模索した結果、全国各地の団体をネットワークで結びオンライン方式で開催することになりました。

■プログラム(敬称略)

○開会挨拶

特定非営利活動法人
ファミリーハウス事務局長
植田 洋子

○講演

「(こ)を押さえれば大丈夫！
滞在施設における科学的
根拠に基づいた新型コロナ
感染症対策」
自治医科大学附属さいたま
医療センター周産期科
新生児部門教授
細野 茂春

○分科会

「コロナが与えたハウスへの影響」
○全国ハウスの情報交換・共有

最後に、今まで体験したことのないコロナ禍において各ハウスがどのように工夫して今を乗り切っているのか体験を分かち合い、知恵を出すために日本小児科学会新型コロナウイルス感染症対策WGからの提言も参考にしながら安全安心に向け、スタッフ一同努力することを確認し終了しました。



Web
北海道ファミリーハウス
検索

北海道ファミリーハウスが運営する「しろくまハウス」を開設して一年が過ぎましたが、この間コロナの影響を受け病院の一時休診などもありハウス利用者にも少なからず影響は出ています。快適に利用いただくため利用者アンケートをお願ひしています。

直営 しろくまハウス

●利用者の声

▽長男の手術で約一ヶ月滞在しました。室内はきれいで家具や備品が整い緊急時はすぐ病院まで歩ける所です。短期賃貸では宿泊費が二倍なので助かりました。

(青森県)

▽土地勘がない中での宿探しは不安が大きい札幌は観光シーズンにホテルが埋まり価格も高いので、しろくまハウスの存在はありがたい。

(福島県)



アンケート協力
ありがとうございました



主な掲載誌
・帯広市
・旭川市
・当別町

ファミリーハウス活動を
ご理解いただくために

ファミリーハウスの活動をご理解いただくために様々な取組みを行っていますが、全道各地からのご利用に向けて、自治体が発行する広報誌に紹介記事を掲載していただきました。